

実績報告書

事業の実績

令和2年7月5日日曜日~10月25日日曜日25回 なごみ子ども出版オンラインスクール（アシスタント）

令和2年9月26日土曜日 クマガク☆にしくソン（オンライン）

令和2年10月10日土曜日から全5回 玉名未来づくり研究所ワークショップ（オンライン&リアル）

令和2年10月から3年1月 オープンストリートマップ・uMapを使った観光地図等の作成

令和2年10月から12月 ウィキペディアタウン（オンライン&現地調査）

令和2年12月16日水曜日 COVID-19クラスター防止策アイデアソン（オンライン）

具体的な成果

本年度はコロナ感染症のため、1つを除いて予定していた活動のすべてをオンラインでの活動に切り替えた。

なごみ子ども出版社オンラインスクール：講師は、東京のIT企業で活躍している専門家やWebデザイナー。受講生は小学4年生から高校生まで、地元熊本を中心に遠くは東京・大阪からも参加があった。主催者からは、大学生のアドバイスが参加者の技術習得に貢献したとの評価があった。

クマガク☆にしくソン：学生、区役所、住民で西区を考えるイベント。まち歩きマップを作成することが決まり、オンラインで共同作業を進めることになった。1月末までに作成したWebサイトは3つ、マップは10ページ以上。

玉名未来づくり研究所ワークショップ：玉名市役所主催のイベント。玉名市在住の高校生を主とした活動で熊大・県大からも学生が参加した。

COVID-19クラスター防止策アイデアソン：予定にはなかったイベントであるが、熊本リハビリテーション病院理事長から依頼があり、Code for kumamotoと共催した。学生・IT技術者・医療従事者など30名を超える参加があった。熊日新聞に記事掲載。

*東京大学生産技術研究所関本（教授）研究室が主催している、UDC（アーバンデータチャレンジ）に以下の作品と活動を応募した（現在審査中）。

(1)熊本県・市交通事故多発地点の可視化、(2)熊本市西区池辺寺跡周辺の観光施設お可視化、(3)八代市及び周辺地域の災害状況と空き家情報の可視化、(4)熊本県オープンデータによる観光施設の可視化、(5)熊本市オープンデータを使った人口減少の可視化、(6)熊本市オープンデータを使ったWiFiアクセスポイントの可視化、(7)コロナ感染状況の可視化、(8)コロナ感染者の関連図、(9)クマガク☆にしくソン、(10) COVID-19クラスター防止策アイデアソン